

しょうようこうとうがっこう  
翔陽高等学校

がいこくじんいじゅうしゃ かんこうきゃくしえん つうがく つうきんしゃしえん  
「外国人移住者や観光客支援、通学・通勤者支援について」

あなん らいか うめだ りほ  
阿南 来夏議員・梅田 莉帆議員

質問

あなんぎいん  
阿南議員

げんざい おおづまち ちょうがい つうがく つうきんしゃ そうか けんがい かいがい かんこうきゃく  
現在の天津町は、町外からの通学・通勤者の増加、さらに県外・海外からの観光客  
も増加していることが目立ちます。実際に翔陽高校の生徒も町外からの通学者が多数  
を占め、その半数以上がJRやバスなどの公共交通機関を使っています。私たちもJ  
Rを活用して登校しているときに、外国人観光客が駅前で立ち往生して困ってい  
る所を時々見かけたり、初めて天津町に通学する高校生などが困っていたりする様子  
を見てきました。

そこで、私たちは、令和6年3月に出された「肥後天津駅周辺まちづくり基本構  
想」を参考に、観光面・通学面で利用しやすくなるような提案をします。

がいこくじんいじゅうしゃ かんこうきゃくしえん  
《外国人移住者・観光客支援》

ひとつ目として、外国人相談窓口は役場に設置してあり、様々な国籍の方々の対応がで  
きるような策が講じられています。しかし、肥後大津駅からその役場までの行き方  
や、役場に入ってどの課に尋ねたらいいのかが知ることができる方法が整うと良いと思  
います。また、これはJRとの連携になるかもしれませんが、列車を降りてすぐの場所  
に「北口」「南口」そしてそれぞれの場所に何があるのか、などが記載されている看板  
の設置などを提案します。その際には、英語だけでなく中国語などの複数の言語や、誰  
でもわかるように天津町の小中高生が考えたオリジナルのピクトグラムを掲示すると  
さらに良いのではないのでしょうか。そうすることで、年齢・国籍関係なく多くの方が理  
解できるユニバーサルデザインの支援になると思われます。

かんこうきゃく つうがく つうきんしゃしえん  
《観光客や通学・通勤者支援》

ふたつ目に、天津町には公式インスタグラム（Instagram）や公式ライン（LINE）  
があります。しかし、私たちも知らなかったように、観光客や天津町への通学・通勤  
者の方々はあまり活用されていないと思います。天津町在住の方々はもちろん、  
その他の地域の方々にも、もっと「天津町」を知っていただくうえでも、既存のSNS  
などをさらに拡張することを提案します。また、この公式インスタグラムの担当者の方

は役場の方かと思われるため、更新や内容もどちらかという大津町民向けのものが  
多いような気がします。さらに大津町に通っている多くの方々に「大津町」のことを  
知ってってもらうためにも、中高生や観光客などいろんな世代やいろんな方々から  
の情報提供が行えるように投稿BOXやアンケート機能の活用などをしてはどうで  
しょうか。

その提案の1つとして、駅の「北口」「南口」を出てすぐの場所にQRコードを貼り  
付けたいと思います。そこで行われた情報提供をもとに担当の方が発信できると観光  
地としての「大津町」、通勤・通学しやすい「大津町」としてもさらに町の活性化につな  
がるのではないかと考えます。また、各学校のHPやSNSなどにこの大津町の公式S  
NSへのアクセスができるように働きかけをしてみることも提案します。

以上の提案について、町長のお考えをお聞きします。

## 答弁

金田町長

駅を利用する外国人移住者、観光客や、初めて大津町へ来る人々への案内掲示に  
よる支援、町の公式SNSの拡充及び駅を利用した情報収集、発信による観光  
客、通勤通学者支援、以上2点の質問にお答えします。

まず、議員ご指摘の町を始めて訪れた観光に来られた方や、駅周辺に詳しくない町  
外から通学することになった学生さんや、外国人を含む大津町へ移住された方などが、  
電車を降りた後に立ち往生したり、困っている状況になったりしていることにつま  
ましてお答えします。

現在の肥後大津駅には電車を降りてから最初に目にする場所に「北口」と「南口」の  
標記が4か国語でなされています。しかしながら、議員ご指摘のとおり、それぞれの出  
口にどのような施設があるのかなどを示す案内掲示はほとんどない状況です。今年  
度、駅における案内掲示の多言語化を行う計画を立てておりますので、そのなかで単  
今ある看板や掲示物を多言語化するだけでなく、議員ご提案のように外国人を含む駅  
利用者の方々の利便性向上につながる情報を整理し、駅とも協議しながら外国人に  
とっても分かりやすい掲示を進めていきます。

また、中高生が考えるピクトグラムを使用したユニバーサルデザイン的な掲示については、今後、駅周辺まちづくり構想の基本計画策定にあたり、駅利用者のアンケートを実施する予定ですので、そのご意見も踏まえて駅周辺も含め全体的に検討したいと考えています。

また、外国人相談窓口への案内につきましては、肥後大津駅南口のビジターセンターには午前9時から午後6時まで対応している有人の案内所があり、そこではタブレットを用いた多言語通訳での簡単なお尋ねの対応や、駅から目的地への案内も行っています。しかしながら、そうした案内の存在自体が特に外国の方には分かりづらい部分もあるかと思しますので、先ほどお話しした案内掲示の見直しの中で、外国の方への支援を強化していきたいと考えています。

続きまして、町の公式SNSの拡充及び駅などを利用した情報収集、発信による観光客、通学・通勤者支援についてお答えいたします。町の情報発信は、公式ホームページと、毎月発行の「広報おおづ」及び「生涯学習情報誌」がメインとなっているほか、今回、議員のご質問にありました公式SNSとして、主にLINEとインスタグラムで情報発信を行っています。また、町の観光協会でもインスタグラムのアカウントを開設しており、主に観光分野での情報発信を行っています。

今年から、情報発信をメインとした地域おこし協力隊員を採用しており、Instagramではパリオリンピック・パラリンピックの応援企画を実施し、新聞等に取り上げられるなど、反響がありました。

しかしながら、公式Instagramは4月に開設したこともあり、議員ご指摘のとおりまだまだ周知が足りていないと感じていることも事実です。議員ご指摘の「投稿BOX」や「アンケート機能」につきましては、Instagramの機能かと思われませんが、現在は町からの一方通行の情報発信がメインとなっていますので、皆様からも情報提供していただけるような双方向での交流や、そこで得られる様々な情報の発信についても研究を行っていきます。

また、あわせてご提案していただきました駅の北口及び南口での公式SNSなどのQRコード表示や、各学校のホームページからの町公式SNSへのリンクなどにつきまし

ても、駅や教育委員会などの関係機関との協議を進め、大津町の魅力をより多く知っていただけるような町の情報発信の強化に取り組んでいきます。

## 感想

うめだぎいん  
梅田議員

まずは、私たちの提案について、ご丁寧にお答えいただきありがとうございます。  
駅周辺の環境整備について様々な施策が実行されようとしていることを再認識することができました。もし、今後小中高生の考えるピクトグラムの採用が可能となるような可能性がありましたら、以下のようなコンテストを提案します。「誰でも過ごしやすい大津町～ピクトグラムコンテスト」です。このコンテストでは、SNSを利用して、作品を募集したらいいと思います。

こうすることで、若い世代の意見を聴くことができるため、国籍関係なく、幅広い年代で分かりやすいピクトグラムが多数生み出され、また大津町に関わる多くの人がかたがた体化することに繋がる活動にもなると思います。

また、町長がおっしゃっている南口のビジターセンターの存在は知っていましたが、案内を行ってくれることについてはよく理解できておらず、多くの若者は、普段待ち合所として使っていることが多いように感じます。「ビジターセンター」の役割が分かりづらい現状があると思いますので、「ビジターセンター」の名前をもう少し親しみのあるものに改名すること、もしくは「ビジターセンター」の役割の周知を、それぞれSNSなどを活用して、様々な形で行うと、そもそもの役割を十分に発揮すると思います。

続きまして、SNSを活用した案につきましても、最近改めて大津町のインスタグラムを拝見させていただきました。以前よりも投稿が活発化されていて内容だけでなく、デザインも良く、分かりやすくなっていたことから、より多くの人に利用してもらいたいとあらためて強く感じました。また、先ほど述べたピクトグラムコンテストの作品の応募もこのようなSNSを活用して行い、その結果や既存の町内のコンテストの結果なども公式インスタグラムや公式LINEに投稿することで、大津町の活動や町民の方々の活動などを知るきっかけになると思いました。

この度は、我々の提案について、ご丁寧に回答いただきありがとうございます。これから私たちも大津町で学ぶ高校生として、地域発展の一助となるべく様々なことを学び、気づき、行動してまいりたいと思います。